



トレーサー相互利用サービス開始について

Rev. 1.2



1. 本書の内容について

本書では2015年4月15日よりサービス開始のトレーサー相互利用に関するFAQ（よくあるご質問）とMEGANET Proでの変更された画面内容について簡単な説明をさせていただきます。

2. F A Q(よくあるご質問)

Q. 相互利用対象のトレーサーについて教えてください。

A. 現在、MEGANET Proでご使用の全てのトレーサーが対象となります。

HOYAトレーサー	GT-1000
	GT-3000
	FR-3000 ※ 加工機付属トレーサーのみ対応
	GT-5000
MEGANETレーサー	LT-700M (ニデック)
	LT-700SXM (ニデック)
	LT-900M (ニデック)
	Lt910 (ニデック)
	LT-980M (ニデック)
	FR-10 (トプコン)
	FR-20 (トプコン)
	FR-50 (トプコン)
	FR-5000 (トプコン) ※ 加工機付属トレーサーのみ対応
	FP-303 (ニコン)
	FD-80m (タクボ)

※ MEGANET Pro での画面表記について

HOYAトレーサーは「Hトレーサー」、MEGANETレーサーは「Mトレーサー」に統一してあります。

Q. カット(玉型)レンズの仕上がり精度が心配ですが。

A. 測定精度につきましては店舗様トレーサーの個体差に依存します。

精度維持のため、お客様におかれましては定期的に校正(補正)を行ってください。

Q. カット(玉型)レンズの仕上がり精度に問題があった場合、どこに問い合わせたらよいのでしょうか。

A.

問題が発生したレンズメーカー	連絡先	
特定メーカーのレンズのみ	トレーサーの機種に関係なく、精度に問題があるレンズメーカーに連絡してください。	
全メーカーのレンズ	HOYAトレーサー利用時	HOYAコールセンターまたは担当営業へ
	MEGANETトレーサー利用時	お客様サービスセンターへ

Q. トレーサーの修理対応に変更はありますか。

A. HOYAトレーサーはHOYAコールセンターへ、MEGANETトレーサーはお客様サービスセンターにて従来通り対応いたします。

Q. 今回を機にトレーサーを新規購入したいが、HOYAトレーサーとMEGANETトレーサーのどちらを選択すれば良いでしょうか。

A. 店舗様にてMEGANET Proでご利用可能なトレーサーより機種選定をお願いいたします。2015年4月現在、販売しているトレーサーは以下の通りです。

HOYAトレーサー	GT-5000
MEGANETトレーサー	LT-980M (ニデック)
	FR-50 (トプコン)
	FD-80m (タクボ)

Q. カット(玉型)レンズ発注時のトレーサー使用方法やレンズ処方の質問先

A. ① トレーサー使用方法

→ HOYAトレーサーはHOYAコールセンターへ、MEGANETトレーサーはお客様サービスセンターにて従来通り対応いたします。

② レンズ処方

→ 従来通り発注先のレンズメーカーまでお願いいたします。

Q. 過去に登録した計測データを利用できますか。

A. 利用できます。

① HOYAトレーサーで計測した登録済データを利用してHOYA以外のメーカーへも発注ができます。

② MEGANETトレーサーで登録したフレームライブラリのデータを利用してHOYAへも発注ができます。

3. 変更された画面内容について

- ① 特注発注画面で形態にカット(玉型)を選択した場合の「トレーサー」ボタンが2つになります。

【変更前】

選択したレンズメーカーによって、トレーサー一計測画面を振り分けていました。

【変更後】

お客様でどちらのトレーサーを使用するか選択できます。

- ② 上記①の2つのトレーサーボタン(Mトレーサー, Hトレーサー)の表示／非表示はメニュー - 店舗設定 - 店舗設定<店舗初期設定>よりお客様で設定可能です。尚、初期値は両方「表示する」になっています。

店舗設定<店舗初期設定>

言語選択 Japanese

発注設定

登録ボタン表示 ☒ 表示する ☐ 利用する

発注番号の自動採番

☐ 固定文字

☐ 月日あるいは年月

☒ 月日

☐ 年月

数字連番の桁数

結果イメージ

表示

EP方式設定 方式1

SEG方式設定 方式1

トレーサーボタン表示設定

Mトレーサーボタン ☒ 表示する ☐ 表示しない

Hトレーサーボタン ☒ 表示する ☐ 表示しない

戻る 登録